

## 菅官房長官の暴挙を許すな！

3月28日（火）晴れ。午前7時30分着、8時から座り込み集会、9時、12時、15時と3回にわたり、座り込み排除、「囲い込み」に各20から30分拘束される。昨日は搬入なし。明日の水曜日は統一行動日なので200人以上が集まり阻止できるだろう。今日は辺野古の現況をお知らせします。

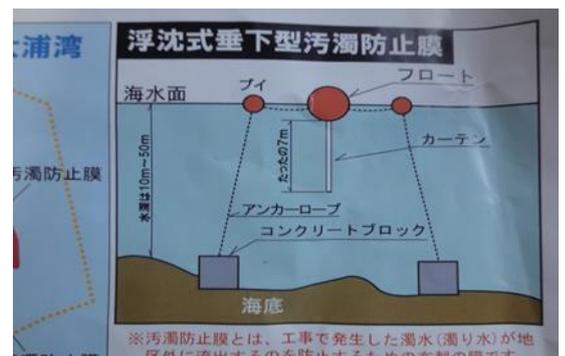
政府は、2月から強行してきた15トンのコンクリートのブロックに続いて、3月9日から大浦湾への汚濁防止膜の設置を始めました。政府は環境に配慮しながら、埋め立て本体工事を行うと言っています。前回の2015年、政府がフロート設置にあたって大浦湾へ45トンを超えるブロックが投下され、多くの珊瑚が死滅しました。今回の汚濁防止膜設置にあたって、政府はブロックの重量を15トンに制限したから影響が薄まったように言っていますが、前回の4倍を超える228個ものブロックを投下する



と、また多くのサンゴや海の生き物が死滅していくことは明白です。汚濁防止膜はブロックにつないで設置されます。設置箇所の水深は10メートル以上、深いところは50メートルを超えます。この深さに7メートルの「のれん」のような幕を垂らしても海底まで届かないので、汚濁は潮流に乗り拡散し放題です。また、設置箇所は限られ汚濁現場を取り囲む構造になっていません。

すでに、海底地盤の調査は行いましたが、現在、多

目的作業船「ポセイドン」がボーリング調査だけでなく、さらに多様な調査を行っています。海底の地質に構造上深刻な問題があると指摘されています。結果は公表されていませんが、計画の大幅な変更が予想されます。岩礁破碎許可の申請を出さず、計画の変更届けを出さず工事が強行されようとしています。陸上では兵舎の解体工事と護岸工事の準備作業が進められています。連日、大量のグリ石の搬入と生コン車が入っています。これは護岸工事の準備作業と生コンプラントの為だと思われま



キャンブ・シュラブの砂浜と海中から琉球時代の「碇石」が見つかり、名護市は貴重な文化遺産として調査する必要があると、来年度の予算に調査費を計上し、防衛局や米軍に調査要請を行っています。また、基地内を通る美謝川の移設をしなければなりません、名護市は反対しています。このように現在でも辺野古新基地建設には多くの問題を抱えています。菅官房長官の宣戦布告とも思われる、知事への賠償請求は絶対に許すことはできません。

### 【行動日程】

#### 4.1（土）ゲート前座り込み1000日目！

**海上工事は違法・市民の大結集で違法工事を阻止しよう！**